

会議名	第1回宇部市産業振興計画推進委員会
日時	2022/08/19（金）10:00～12:00
場所	宇部市役所3階 第3-3、3-4会議室
出席者 （敬称略）	委員12名（欠席2名） 事務局6名 （宇部市：濱田部長、秋本次長、内田課長、諏訪副課長、河内係長、大橋係員（記））
会議資料	・宇部市産業振興計画推進委員名簿 ・宇部市産業振興計画推進委員設置要綱 ・資料1 宇部市産業振興計画の概要について ・資料2 宇部市産業振興計画令和4年度の取組みについて ・資料3 今後のスケジュールについて 他
No.	会議内容
1	委嘱状交付
2	部長挨拶
3	委員及び事務局紹介
4	議題 （1）会長及び副会長の選出 （2）令和4年度の取組について （3）今後のスケジュールについて
5	その他
主な議事内容	
<p>議題（1） 会長及び副会長の選出</p> <p>≪委員から自薦、他薦等の意見はなく、事務局一任の提案あり≫</p> <p>⇒事務局より会長は渡邊委員、副会長は林委員が就任することを提案</p> <p>⇒委員異議なし、会長及び副会長の決定</p> <p>議題（2） 令和4年度の取組について</p> <p>≪事務局より宇部市産業振興計画の概要と令和4年度の取組について説明≫</p> <p>⇒意見・質問等は以下のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 10年という長い年月の計画であるが、この大きな目標を達成するために、段階的な進捗管理はどうやって行うのか。また、委員に求められていることは何か。（委員） <ul style="list-style-type: none"> ➤ 1年ごとに目標値を掲げており、かつ、5年の中間時点に見直しを行う。また、公表していないが、四半期ごとに市長を交えたレビューで進捗管理を行っている。委員の皆様においては、進捗状況を共有し、目標達成のためのご意見をいただきたい。（事務局） ・ DX研究会とはこういった形式で行われるのか。専門家も参加するのか。（委員） <ul style="list-style-type: none"> ➤ まだ協議段階ではあるが、専門的な知見を持つ企業に関わっていただけるよう検討している。また、将来的にコンソーシアムを形成し、DX推進のための実証事業につなげることを視野にいれている。（事務局） ・ 各施策について、委託先事業者は市内中小企業であるか。（委員） 	

- 施策については、委託をせずに市単独で行う事業も含まれる。委託事業については、市内事業者に優先発注することを基本としているが、業務内容によっては市外事業者が発注する場合もある。(事務局)
- ・ 産業振興計画の説明をしていただいたが、基本方針2及び3について、重点施策の説明が一部足りなかったため、再度説明をお願いしたい。(委員)
 - 今年は中小企業大学校の受講料(22,000円)の補助を行っていく。受講料を補助することで、中小企業を支える人材の確保・育成につなげていく。(事務局)
- ・ 産業振興計画の市以外の実施主体(国、県や商工会議所、関係機関など)には、どの程度この計画が浸透しているのか。(委員)
 - 市ウェブサイトにて周知及び、策定時にご協力をいただいた機関や団体については、個別に説明している。また、特に成長産業の創出については、相互に各機関が意見交換できる場を設けており、情報の共有を図っている。今後も要望があれば直接お伺いして、説明をさせていただきたい。(事務局)
 - 計画実施の初年度なので、今後も実施主体に対し、計画に関わっているという認識をもってもらうように働きかけをしてほしい。(委員)
- ・ 令和4年度取組一覧に掲げている事業の周知はどのように行うのか。(委員)
 - 市ウェブサイト、広報うべ、関心が高い企業への個別訪問等により周知する。(事務局)
- ・ 令和4年度取組一覧に掲げている事業で補助金について、予算に達した場合はどうするのか。予算に達した場合、以後の補助金申請を止めるケースがあるが、事業者からのニーズがあれば申請を受け付けるといった、柔軟性を持ってほしい。(委員)
 - 今年度分については、必要に応じて補正予算を組む場合もあるが、時間的制約もあるため、実績に基づいて来年度予算を増額要望し対応するケースもある。(事務局)

議題(3) 今後のスケジュールについて

◀事務局より今後のスケジュールについて説明▶

～意見交換～

- ・ DXの推進については、ニーズを熟知している専門家を引き込んでいただきたい。(委員)
- ・ 商店街をはじめとして、まちが閑散としている。今後も宇部に来ってもらう目的、人を呼び込む策が必要である。(委員)
- ・ 中小企業の半分以上は赤字。中小企業が儲ければ歳入も増え、行政サービスが充実する。より手厚い中小企業振興施策を検討するように期待する。(委員)
- ・ 宇部は住みやすい気候・災害の少なさ・医療機関の充実等、条件にはかなり恵まれている。みなとみらいのようなウォーターフロントがあれば持続的で魅力的なまちになる。(委員)
- ・ やる気があり、上昇志向がある人間ほど都市部へ流出してしまう。若者を呼び込める環境づくりが大事である。(委員)
- ・ 宇部市の魅力を感じてもらい、将来働きたいと思ってもらうために、小・中学生に職場体験の機会をたくさん設けてほしい。(委員)

- ・ 市政の周知不足はよく感じる。知られてないということは、かなりウィークポイントであり、個人の感覚を「消費者」ではなく「市民」となってもらえるように、変えてほしい。(委員)
- ・ DXというキーワードは聞くけれど、具体的に何をしたいかわからない経営者が多い。市が実施しているアンケート結果を共有してほしい。(委員)
- ・ 宇部市内の事業者は市内企業同士での取引が多い。市内だけの消費ではなく、ネット販売や市外との取引を行っていくべき。(委員)
- ・ 現状維持、安定志向の市民が多いのかもしれない。スピード感をもって事業に取り組んでいくことが大事と考えている。(委員)
- ・ 各施策を展開しているにも関わらず、支援が必要な方に届いてないことが多い。また、小中高生が早い段階で地元産業の魅力が伝わる機会を増やしてほしい。(委員)
- ・ 新しい企業の創出だけでなく、現存する企業を育て、大きくしていくような支援が必要。(委員)

以上